ビジネスをリードする！

TOYONAKA
CHAMBER

とよなかチャンバー　2014年 2月号
vol. 553

株式会社山本水圧工業所
代表取締役社長　山本 知弘氏

Contents

2 とよなか企業探訪
ちょっと気になるあのお店
3 商工会議所LOBO（早期景気観測）
高橋進の経済ナビ
4 はばたけキーパーソン
情報ファイル

http://www.ooaana.or.jp/

編集発行／豊中商工会議所　〒561-0884豊中市岡町北1-1-2　TEL.06-6845-8001　FAX.06-6857-0474　■mail：toyo-cci@ooaana.or.jp

平成26年 新年賀会を開催

▲ 國貞会頭による年頭挨拶

▶会員をはじめ政・財・官界・各種関係団体から多数が出席

去る1月6日（月）、当所「新年賀会」を会員・地元政界・官公庁・各種団体等約240名の方々の参加のもとホテルアイボリーにて開催された。

賀会の冒頭、國貞会頭は年頭所感の中で、「日本再興元年」となる新たな年を迎え、産業界は業界・分野を超えた英知を集め、新たな「日本再出発の礎」を築き、この難局を乗り切る覚悟をもって未知なる成長分野へ果敢に挑戦する旨を述べた。

また、豊中商工会議所は今年も引き続き「元気な豊中づくり」をスローガンに掲げた。具体的には、市と連携し「大阪国際空港」を活かした「まちづくり」を推進すること、「おおさか地域創造ファンド」を活用して、農商工連携ビジネスや地域資源活用ビジネスを実践的に支援を行い、グローバル化に向けた国際展開など新たな成長分野への挑戦を促進し、多様なイノベーション事業を積極的に展開しながら、経営課題を解決する最善の答えを導き出す「Best Answer Support（BAS）」の提供に邁進していくことを挙げた。また、情報発信力の向上と会員ネットワークならびに各関係機関との連携を強化することを強調した。

続いて淺利豊中市長をはじめ渡邊市議会議長からも挨拶を頂戴し、さらに、今年も豊中えびす神社の福娘4名が会場を華やかに演出。2014年が地元商工業者にとって発展の年となるよう、代表して國貞会頭、福盛副会頭、水上副会頭へ福箕などが授けられ、参加者の皆様にも福餅・金運券が手渡された。

▶福娘から正副会頭に福箕・福笹・御神酒が手渡された

■編集部インタビュー
はばたけ
キーパーソン

●仕事で心掛けていることは？

一期一会。御縁を大切にすること。

●社員教育で力をいれていることは？

会社の型にはめる気は無く、各個人の特性を活かしてもらいたいと考えていますので、基本的には放任です。ただしOJT等で基本を身に付けた後は、それぞれの立場よりお客様・会社および本人の目標に向かう絵を描けるよう意識付けます。またその意識集約をできる社風として全社の総合力を高めることを目指しています。

●仕事で使っている逸品は？

今気に入っているのは、針を使わずに紙を綴じられる「ハリナックス」。構造から察するに関係者が知恵を出し合って出来た、結晶のような器具ではないでしょうか。

●今後、ご自身が身につけたい事は？

外国語。弊社はベトナムにも現地法人があり、また取引も世界各国と行っています。語学力というよりも、コミュニケーションをとっていく上での、物怖じしない度胸と言った方が良いかもしれません。

●勉強になった話、言葉は？

喜んで頂いたお客様が、当社最高のセールスマン。弊社が設計・製作した機械装置を30年、40年、50年と使って頂く物もあります。お客様が満足して頂いて、機械が勝手に営業をしてくれるという意味です。

●今、会ってみたい人や尊敬する人は？

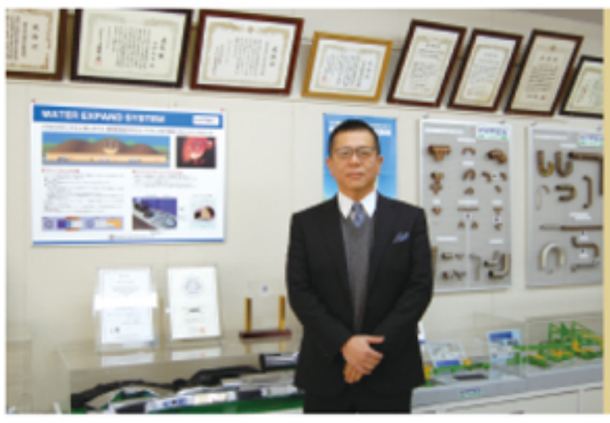
渋沢栄一、岩崎弥太郎、小林一三など明治維新後に近代日本産業の創出に関わった方々。発展途上の国等で若くして社会を創っている人を目の当たりにすると、彼らが当時どういうスタンスで仕事をされていたのかとても興味があります。

●人生の転機は？

社長就任当時。経営革新支援法に申請し、ものづくりエンジニアリング指向に持って行くことを決意しました。

●今後の展望は？

日本国内と同様に、今後発展していく国々の若い人たちと一緒に、限られた分野であるものの、その場・その時に必要とされる存在感のある会社にしていきたいです。



株式会社山本水圧工業所

代表取締役社長 **山本 知弘**氏

■当所常議員
■所在地：豊中市庄本町2-8-8
■TEL：06-6334-4651
■URL：http://www.kanamorig.co.jp/